

高齢化社会と男女共同参画

お茶の水女子大学名誉教授

袖井 孝子

2007.6.19

1. 高齢化する女性人口

- 平均寿命

男78.56歳、女85.52歳(2005年)

男81.88歳、女88.66歳(2030年)

男83.67歳、女90.34歳(2055年)

年々拡大する男女差

- 100歳以上 女85.4%(2006年)

平均寿命：1947～2005

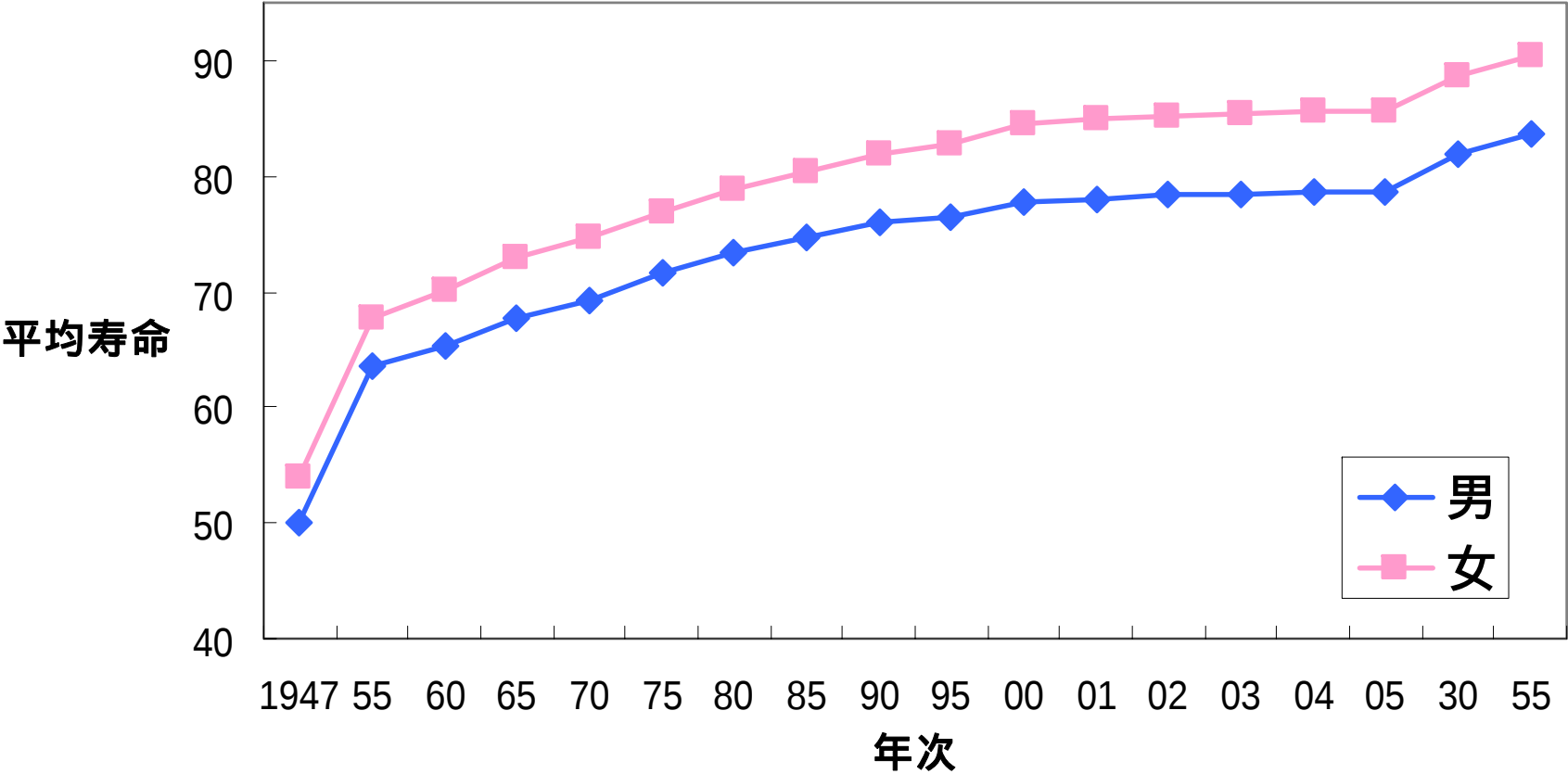
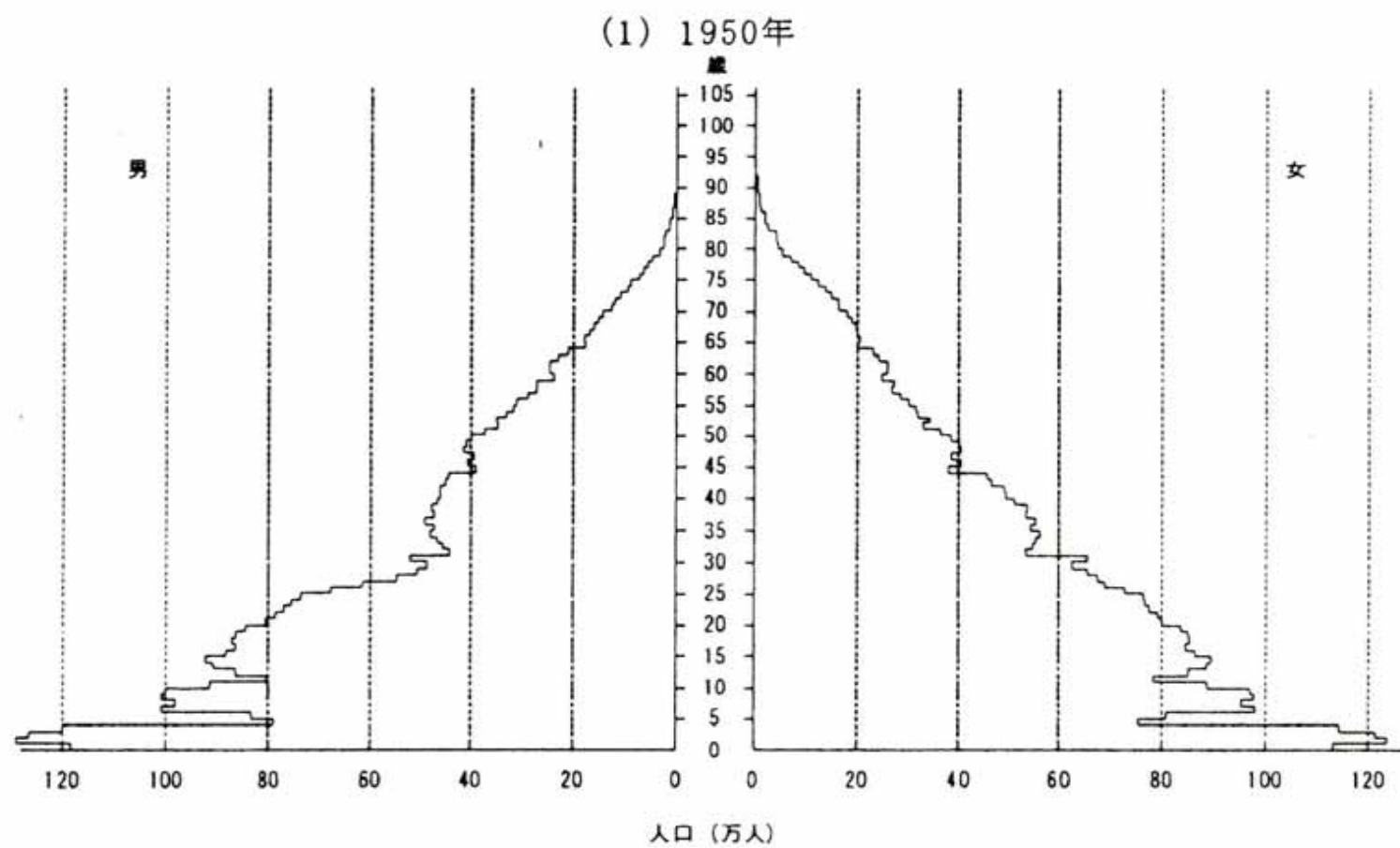
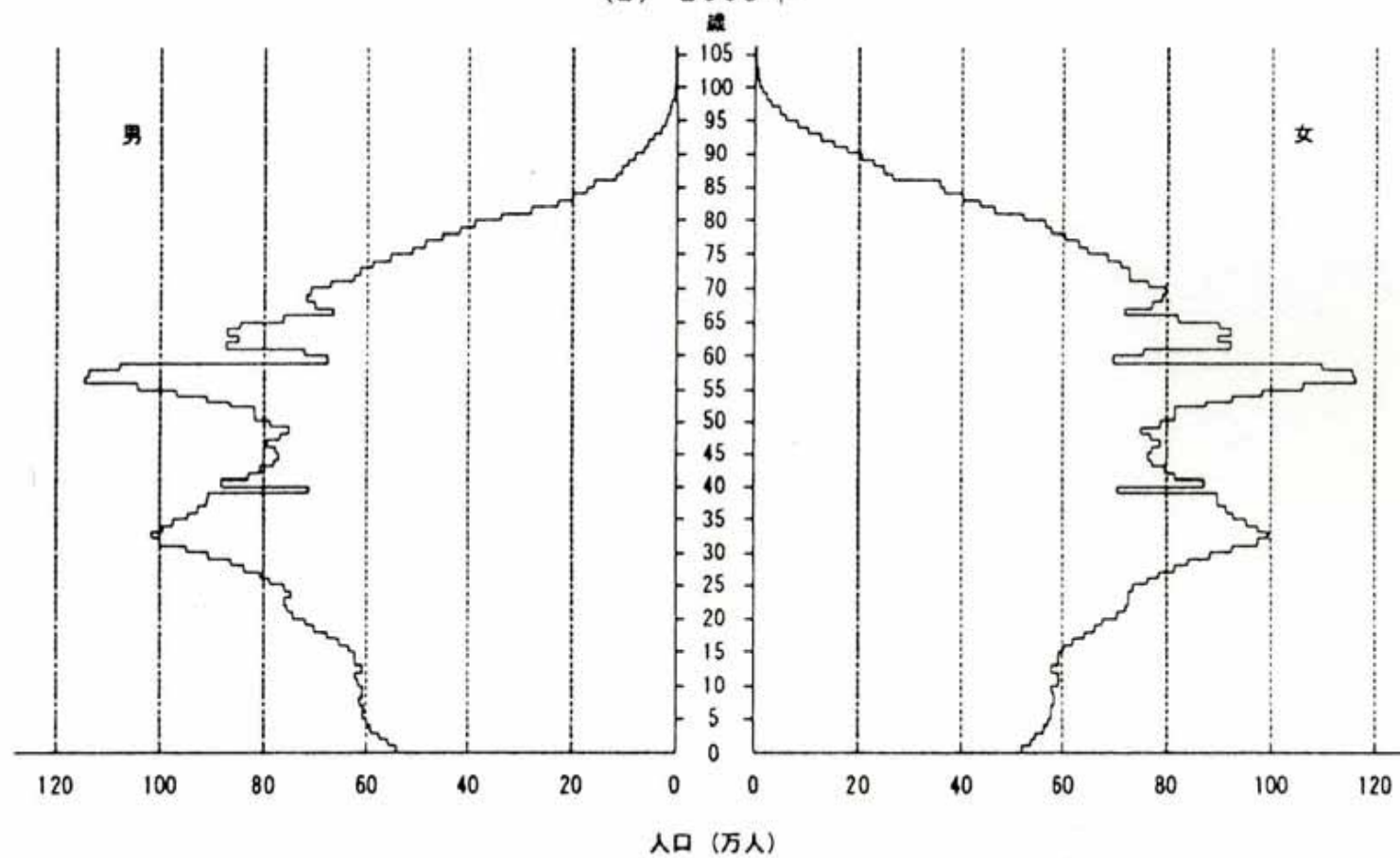


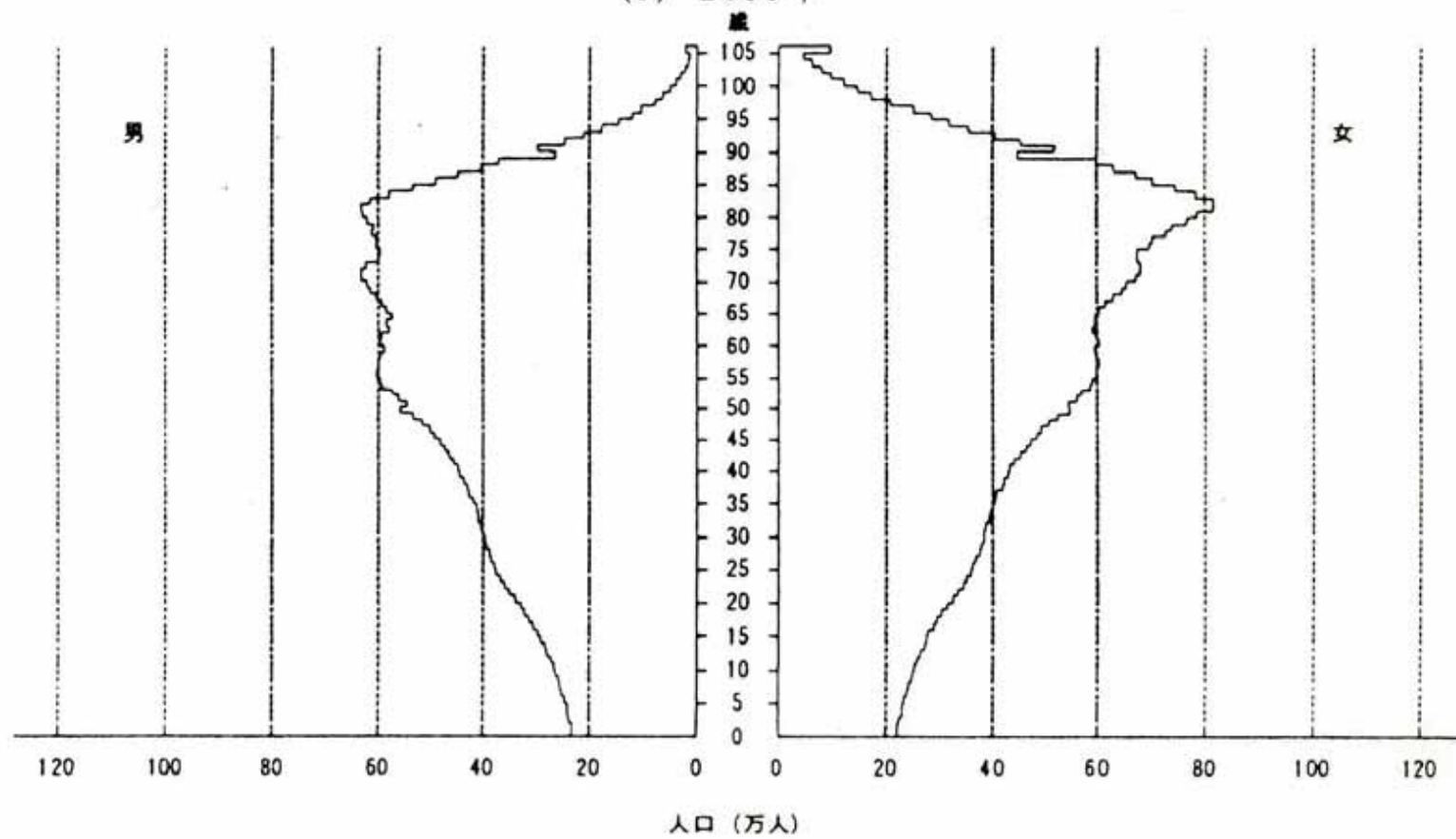
図2-1 人口ピラミッド：1950, 2005, 2055年



(2) 2005年



(3) 2055年



2 女性はなぜ長生きなのか

- 先天的理由 先天的にメスのほうが強い。
- 後天的理由

性別役割分業社会(男は職場、女は家庭。女性は責任ある地位に就けない、危険作業に就けない)

仕事のストレス→酒タバコ、過労、病気、自殺

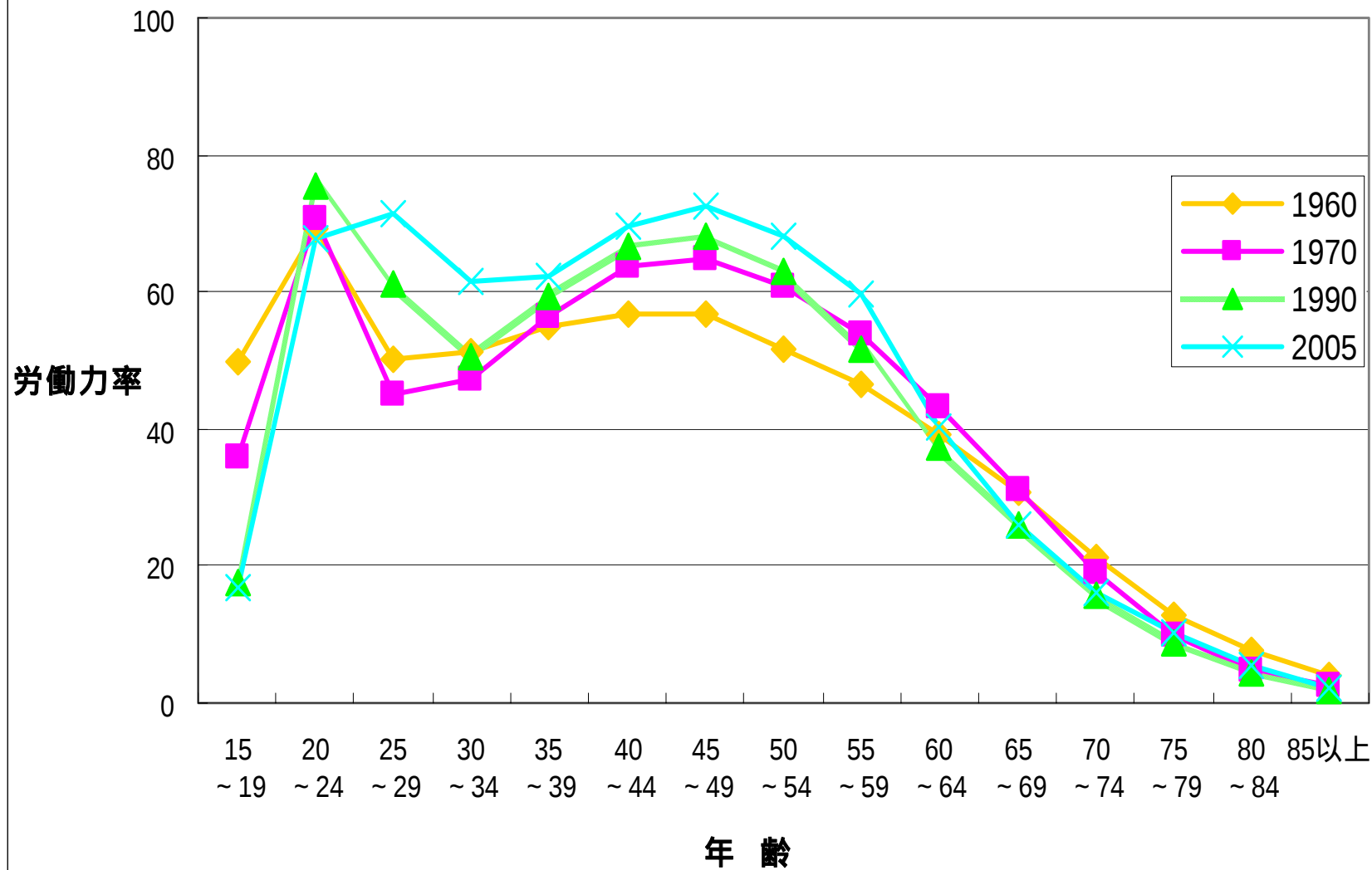
冒険を求めるのは男性

女性のライフスタイルや行動パターン(弱音を吐いても、助けを求めても許される)

3 貧しい女性の老後

- 性差別 (sexism) と年齢差別 (ageism)
一人暮らし高齢女性の貧困
- 低賃金短期就労 → 少ない資産、少ない年金
- 2004年の年金改正
離婚時の年金分割、遺族年金
育児期間中の年金の扱い
世帯単位から個人単位への第一歩
- 少ない高齢女性の就労機会

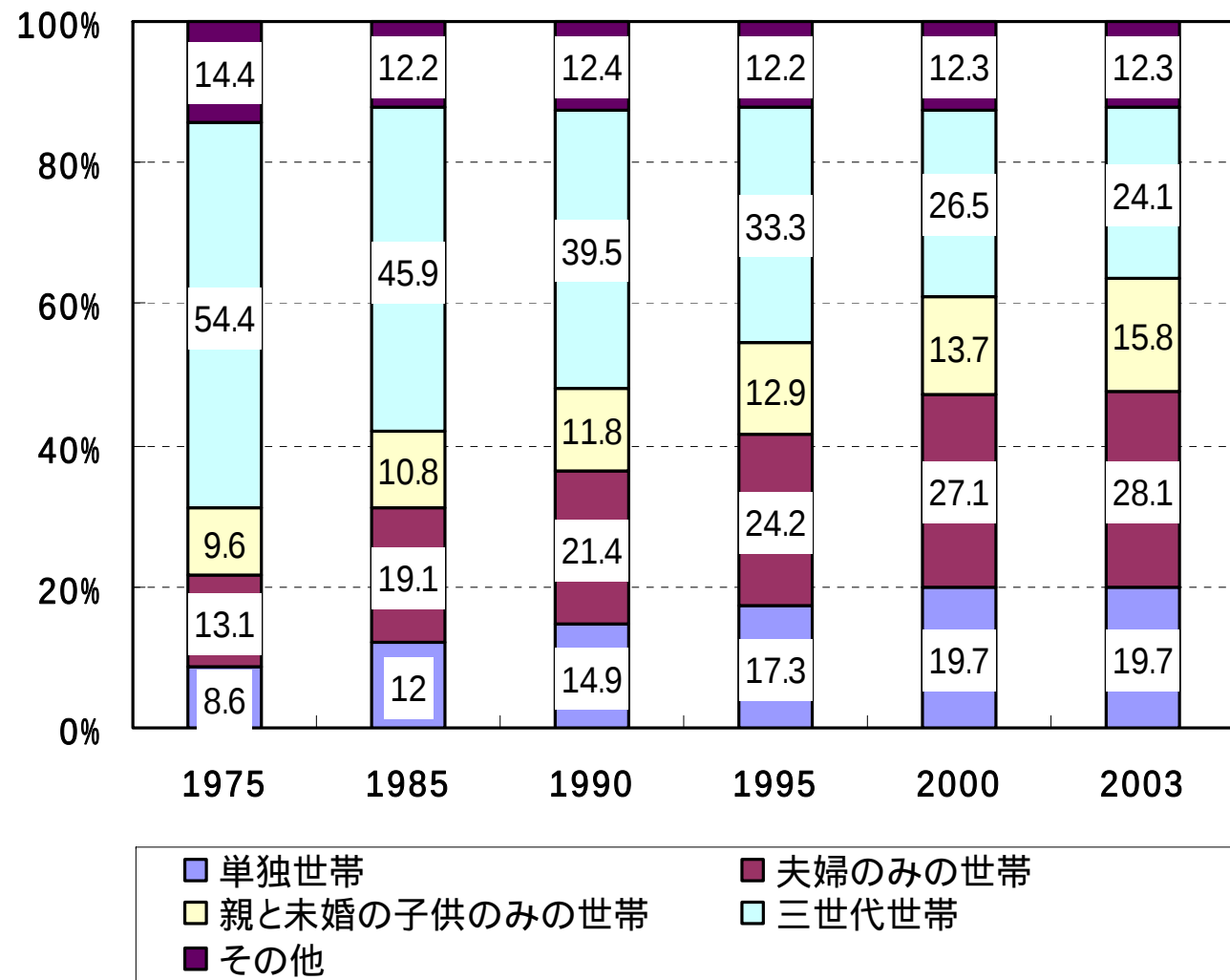
年齢別労働力率(女性): 1960 ~ 2005



4 家族の中の中高年女性

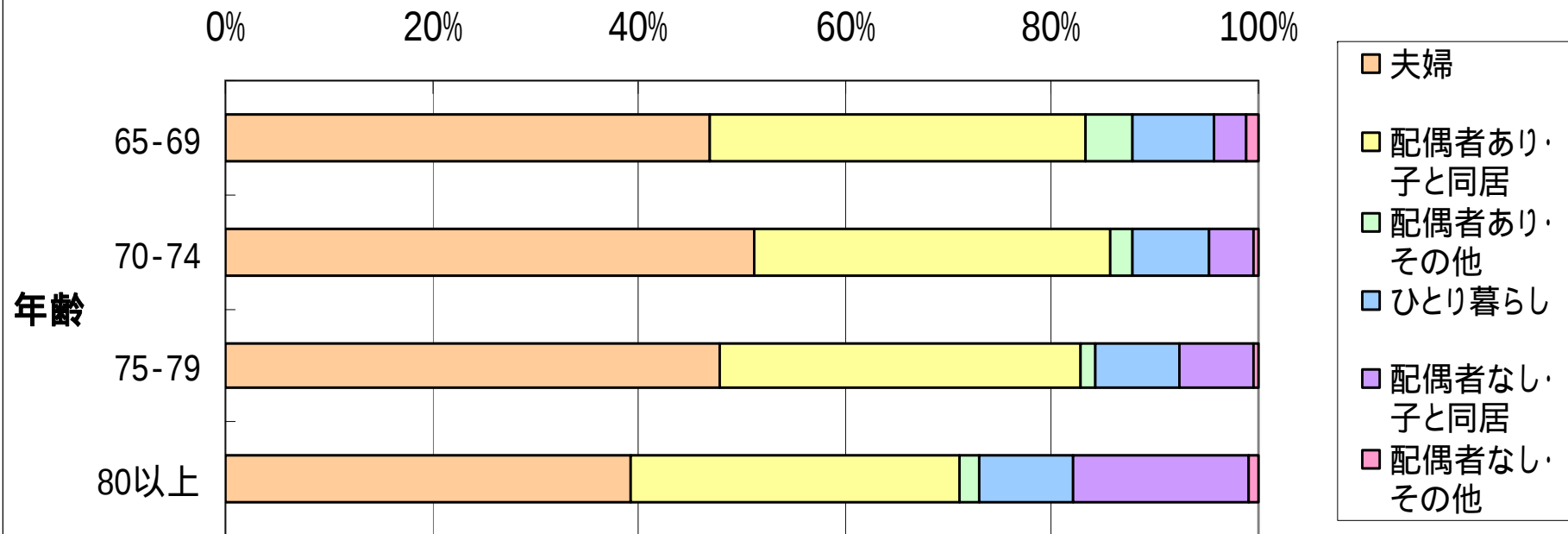
- 定年後の夫婦
性別分業夫婦のすれ違い
男はロマンを求め、女は現実を見つめる。
濡れ落ち葉、恐怖のわしも族。
サンドイッチ世代
子どもの自立の遅れと親の長寿 →
子どもの養育と親の介護問題
- ・ 夫との死別：子との同居、一人暮らし

図5 世帯構造別65歳以上の者のいる世帯数：1975～2003年

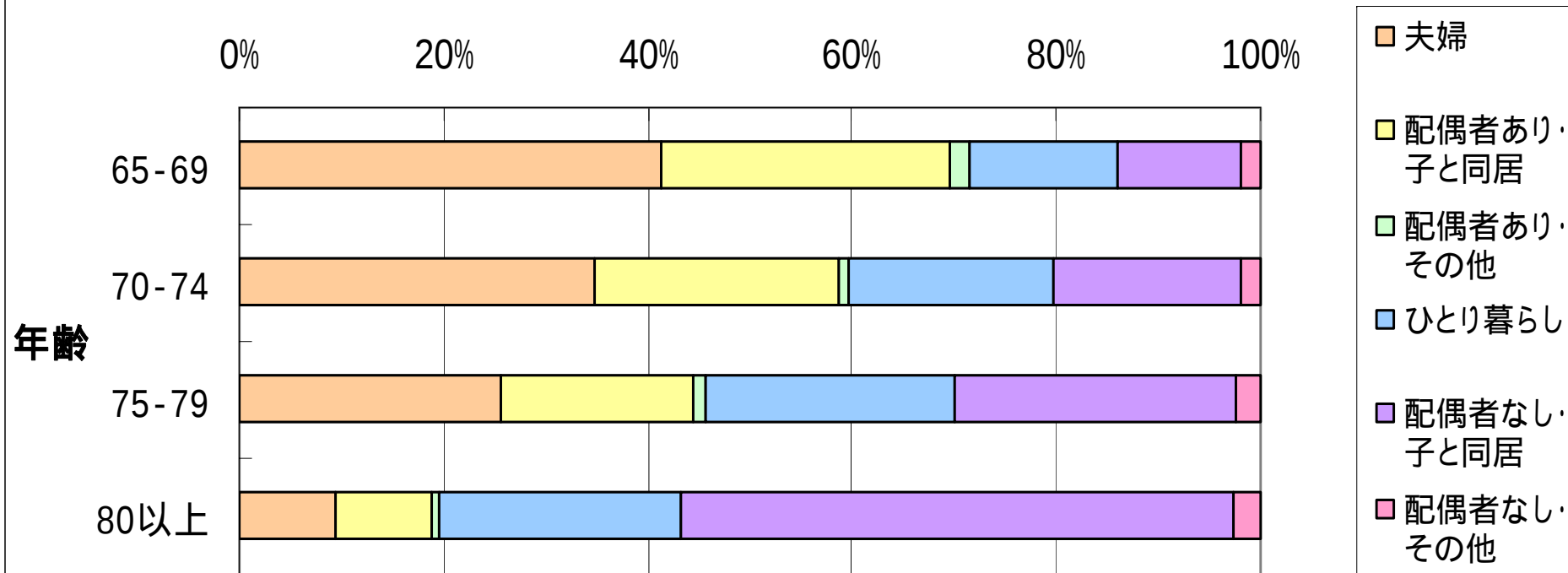


厚生労働省統計情報部『厚生行政基礎調査報告』及び『国民生活基礎調査』による。
 三世代世帯は、世帯主を中心とした直系三世代以上の世帯

配偶者の有無および家族形態別にみた65歳以上の人数 (男性): 2005



配偶者の有無および家族形態別にみた65歳以上の人数 (女性): 2005



5 女性と介護

老老介護

三世代世帯の減少と夫婦のみ世帯の増加

男性介護者

夫介護、息子介護の増加

介護はなぜ女性の役割なのか：在宅家族介護者の75%は、今なお女性

性別役割分業規範

女性自身の役割アイデンティティ

介護保険は介護から女性を解放するか

6 高齢者虐待

- 身体的虐待：殴る、蹴る、つねる
- 心理的虐待： 暴言、無視する、嫌がらせ
- 介護・世話の放棄、放任
- 性的虐待：強制的な性行為、いやがるのに
ポルノを見せる
- ・ 経済的剥奪：年金・貯金・財産を奪う
- ・ 息子に虐待される後期高齢女性
- ・ 虐待者の性格、被虐待者との人間関係

7 地域の中の中高年女性

- 地域活動の担い手は中高年女性
「男は頭、女は手足」といわれるように
リーダーは男性
- 第二次男女共同参画基本計画
まちづくり、地域おこしにおける女性の役割
- 伝統の継承、子育て支援、高齢者への支援

8 おばあさんの知恵とパワー

- いま高齢女性が元気
- 団塊女性の動向

団塊は定年男性だけの問題ではない

- ・ 祖母力の活用
 - 家族・親族の中の祖母力
 - 地域社会の中の祖母力
 - 社会の中の祖母力

9 男も女も自立と共生の老後

- 女性は経済的自立
- 男性は生活自立
- ・ 老若男女共同参画社会を目指して